



帯広市上下水道部キャラクター
ミナモくん

平成27年度 水道・下水道事業会計の決算

災害に強く、いつでも安全に、安心して利用できる 上下水道を目指して

決算は9月23日から開催の定例市議会にて審議されています。

問い合わせ 上下水道部総務課（市庁舎水道棟2階、☎65・4212）

水道事業会計の決算

おいしい水道水を作り 確実に届ける

収益的収支における収入は44億3295万円（前年度比0・1%増）、支出は37億2264万円（同

4・7%減）で、家庭などからの水道料金収入が増加した一方で、十勝中部広域水道企業団から購入した水道水の購入費が減少したことなどにより、収益的収支は7億1031万円（同36・1%増）の純利益となりました。

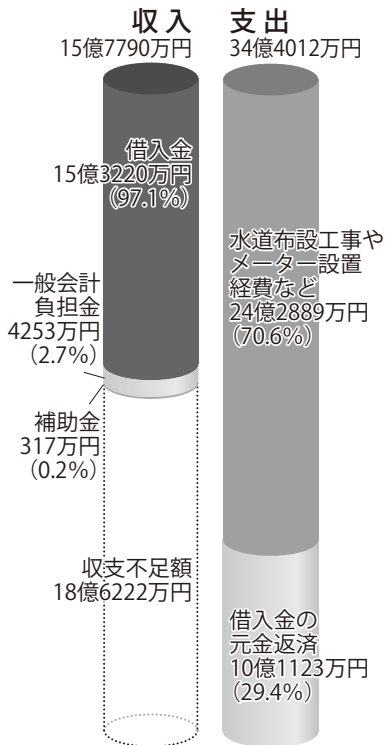
水道施設や水道管を整備する

資本的収支における収入は15億7790万円（同11%増）、支出は34億4012万円（同8・9%増）で、収入の不足は収益的収支の減価償却費（※1）などで補填しました。



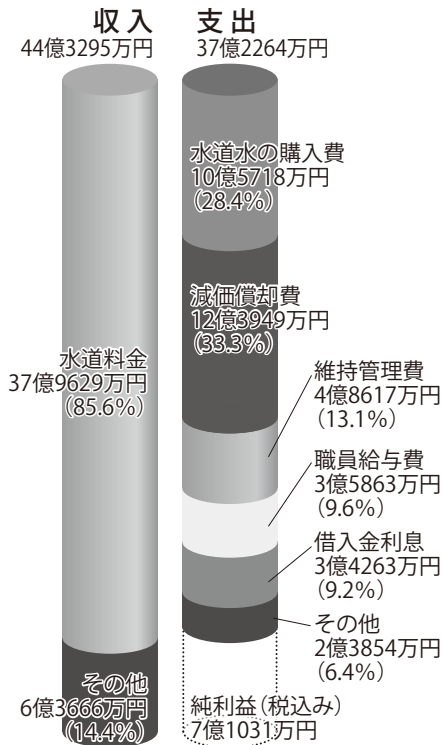
水道施設の建設や水道管を整備、更新するための収入と支出

資本的収支



水道水を作り、届けるための収入と支出

収益的収支



耐震・防寒性能に優れた水道管（橋梁添架管）の整備

水道事業の主な取り組み

▼稲田浄水場設備機器の更新（平成27～29年度）▼南町配水場の改築（平成25～27年度）▼中島配水区の水道管の整備▼新たな水道管の整備や老朽化した水道管の更新▼中長期的な財政状況などを考慮したインフラ基本計画（※2）の策定など

下水道事業会計の決算

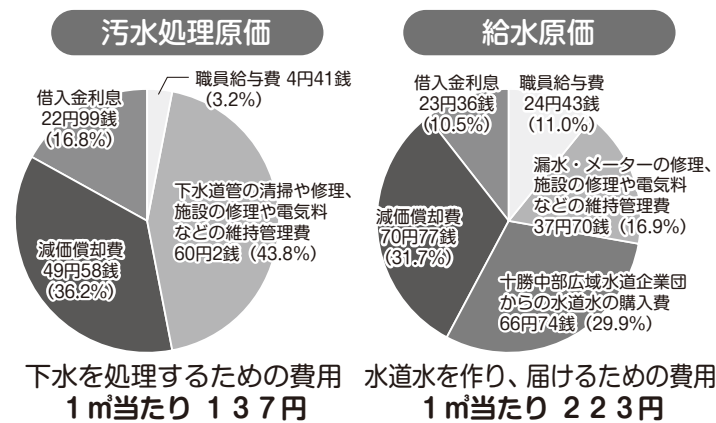
汚れた水を集めてきれいにする

収益的収支における収入は52億1772万円（前年度比3・3%増）、支出は46億7981万円（同1・3%増）で、一般会計からの負担金が増加したことなどにより、収益的収支は5億3791万円（同24%増）の純利益となりました。

終末処理場や下水道管を整備する

資本的収支における収入は13億3878万円（同20%減）、支出は30億5970万円（同11・8%減）で、収入の不足は収益的収支の減価償却費などで補填しました。

水道・下水道事業の費用の内訳



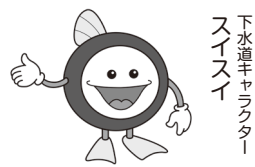
下水を処理するための費用 1 m³当たり 137円

水道水を作り、届けるための費用 1 m³当たり 223円

これからの帯広市の水道・下水道

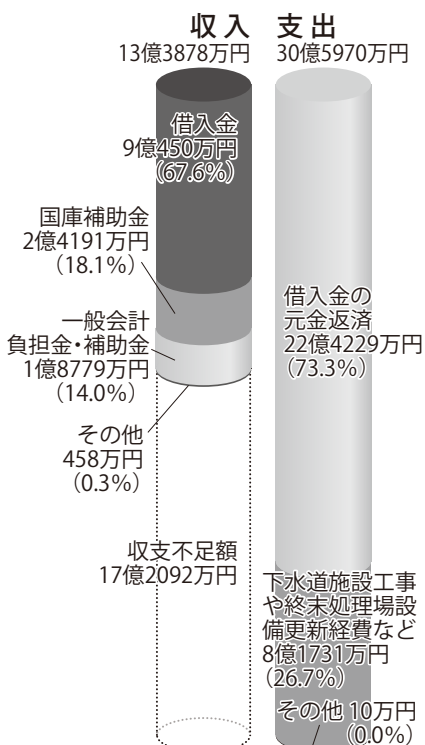
平成27年度の決算は、水道、下水道事業ともに純利益を計上するなど、健全な状況を維持できました。しかし、今後は人口が減少し使用量が減少する一方、多くの老朽化した施設の更新が必要となります。

今後も健全な企業経営のもと、生活に必要な不可欠な上下水道サービスを提供し続けるため、中長期的な視点に立ったインフラ基本計画を策定し、計画的な施設の更新や、災害に強い施設づくりなどを行ってまいります。



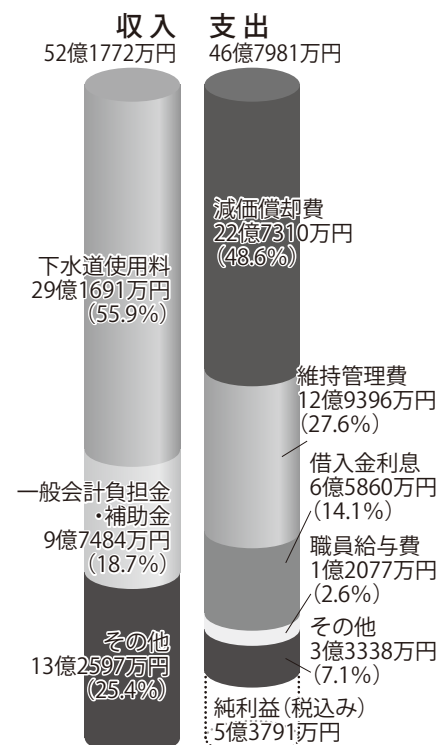
終末処理場の建設や下水道管を整備、更新するための収入と支出

資本的収支



汚れた水を集めてきれいにするための収入と支出

収益的収支



下水道管（老朽管）の更新

下水道事業の主な取り組み

▼新たな下水道管の整備や老朽化した下水道管の更新▼路面陥没の未然防止に向けた地中レーダーによる空洞調査▼帯広川下水終末処理場中央監視装置の更新（平成25～27年度）▼中長期的な財政状況などを考慮したインフラ基本計画の策定など

※1 減価償却費とは 施設が古くなり価値が減った分を費用として換算したもので、収支に反映されます。この費用は現金の支出を伴わず、新しい施設を作るときの財源に位置付けられます。※2 インフラ基本計画とは 施設の維持管理・更新などの中長期的な取り組みの方向性を明らかにする計画です。